

# 3年生 国語科学習指導案

平成27年7月10日(金)

授業者 T<sub>1</sub>

T<sub>2</sub>

T<sub>3</sub>

1, 単元名 日本語の響きやリズムを楽しもう。  
教材名「俳句に親しもう」 東京書籍三上

## 2, 単元の目標

- 俳句の五・七・五の十七音に興味をもち、俳句を進んで読もうとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 俳句の季節や風情などを思い浮かべたり、美しい響きを感じとったりしながら音読や暗唱をすることができる。  
(読む能力)
- 季語や五・七・五の十七音などに気をつけて、俳句をつくることができる。  
(言語についての知識・理解・技能)

## 3, 学習の基盤

- 本単元は、国語科学習指導要領「C読むこと」(1)ア「語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること」および[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]ア(7)「易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること」を重点指導項目としている。

本教材は、四季折々の俳句を紹介しながら五・七・五の十七音のリズムや、俳句の「季語」について考える内容となっている。ここでは、自分たちも俳句をつくるという目的意識を持たせ教材に入りたい。そして俳句をつくるには、五・七・五の十七音でリズムを考えることや、季節を表わす「季語」を入れることをおさえていく活動につなげる。

詩のリズムに興味を持ち、音読することの楽しさを味わい始めたこの期の児童にとって、七音五音を中心としたリズムから、言葉の響きを感じ取りながら文語の調子を親しむ態度を育成するのに適した教材であると考えます。

- 本単元でははじめに教材文から俳句の季語に気づかせる。そして声に出して読むことで俳句の持つ五・七・五の十七音のリズムに親しませたい。そして一人一人が言葉を選んで俳句をつくることができるようにしたい。本時では、児童が見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるように、初めにいろいろな俳句を教師が示し、季節はいつかクイズにして考えさせる。そして俳句には季語を入れてつくるというきまりがあることをおさえていく。その上で音読や暗唱することで、俳句のリズムや響きの美しさに気づかせていきたい。そして自分も俳句をつくりたいという気持ちが持てるようにしたい。

## 4, 単元の評価規準

国語への関心意欲態度	読む能力	言語に関する知識
俳句に興味を持ち、俳句についてすすんで調べ俳句を作ろうとする。	季語から情景を思い浮かべ、リズムや響きを感じ取りながら音読する。	五・七・五の十七音で、季語を考えながら俳句を作っている。

5、本時の学習

(1) ねらい 俳句に興味を持ち、今後の学習の見通しを持つことができる。

(国語への関心・意欲・態度)

(2) 学習の流れ (1 / 4)

時間	学 習 活 動	支 援 , 留 意 点			評 価 規 準
		T <sub>1</sub> (担任)	T <sub>2</sub> (司書教諭)	T <sub>3</sub> (学校司書)	
10	1, [関かさや]の俳句を見て、いつの季節か考え発表し合う。 2, めあてを確認する。	・思ったことを自由に発表させる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・[関]俳句に興味を持ち、すすんで発表しているか。</li> <li>・[関]俳句をつくるためには、どんな学習をするか見通しを持つことができる。[読]いろいろな俳句の中から季語を読み取ることができる。</li> </ul>
はいくのひみつを見つけよう					
15	3, 俳句クイズをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズを配布し説明する。</li> <li>・発表をし合いいつの季節か考えさせる。</li> <li>・当たりはずれだけに意識が向かないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な児童のそばで一緒に確かめる</li> <li>・情景を補足説明をし季語について教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な児童のそばで一緒に確かめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[読]リズムや響きを感じ取りながら音読している。</li> <li>・次時の学習意欲につながられるように、ワークシートで自己評価する。</li> </ul>
5	4, 俳句のひみつを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をさせて五七五音のリズムに気づかせる。</li> </ul>			
8	5, 季語にはどんなものがあるか考える。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・季語を調べるための本を紹介する。</li> </ul>	
7	6, ふりかえりを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を高めるためにいろいろな作品を見せる。</li> </ul>			

(3) 本時の評価

十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
俳句に興味を持ち、季語を選んで俳句を書こうとする。	俳句をつくるためには、五・七・五音で季語を入れることが分かる。	いろいろな俳句の中から季語を示し、俳句のきまりがあることに気づかせる。

(4) 研究の視点

いろいろな俳句の季語をクイズにしたことは、俳句への興味づけや学習の見通しを持たせることにつながったか。